

# 2020年度町田市地域活動サポートオフィス

## 事業報告

### 1 2020年度概括

- ・各事業において、仕様書で設定された目標件数を超えて実施した。当初の目標数値にとられることなく、実際に必要と考えられる事業をその都度検討し、実行した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の中、4月よりオンライン相談、オンライン講座を実施した。並行して、他団体のオンライン企画の実施支援、オンラインツールの使い方の支援に積極的に取り組むことで、オンラインを活用する団体が増え、担い手の広がりにつながった。
- ・事務局を担った町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、3密に配慮した新たな手法として、オンラインを活用した開催方法を検討した。準備段階からオンラインを活用し、当日は、市内各地の会場とオンラインを併用した形式での開催が実現した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い影響を受けている人を支援する市民活動団体への助成を目的とした「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田」を町田市社会福祉協議会との実行委員会形式で実施。154名から1,130,000円の支援金が集まり12件の活動にクラウドファンディング事業者への手数料を引いた881,400円の助成を実施した。
- ・事業計画を策定する連続講座「まちだづくりカレッジ」や「まちカフェ！」を通じて、団体・学生間および団体間で行った協働事業が団体の活性化につながることが確認できた。また、「まちカフェ！」では、団体の枠を超えた「まちだ子どもアクション」という新たな取り組みが誕生した。事後アンケートでは、84%が「協働事業に取り組みたい」と回答しており協働事業への関心が高いことがわかった。

### 2 活動日数

2020年4月1日～2021年3月31日（12ヵ月、243営業日）

### 3 事業報告

#### (1) 地域活動に関するコーディネート事業

##### ア 相談対応

相談・来訪 137件

内訳（複数選択）

事業相談57件、意見交換／情報交換43件、助成金相談／資金獲得14件  
ワークショップ等開催支援6件、設立相談5件、情報発信4件、社会貢献3件  
その他21件

- ・事務所、アウトリーチでの相談対応に加えて新型コロナウイルス感染拡大の中、オンライン相談を導入し、緊急事態宣言下でも相談対応を継続した。
- ・オンラインのメリットを活かし、他地域の先進事例と町田市の団体をつなぐヒアリング会も実施した。

##### イ 地域イベントへの参加 目標年12回→実績年17回

- ・他団体からの依頼により、イベントの企画や進行などの支援や講師を行った。特にオンラインイベントの開催支援の依頼が多かった。
- ・継続して伴走支援をしているNPO法人ゆどうふについては、定例会への参加、中間報告会、研修、最終報告会の企画進行等を担い、団体の事業の進展に寄与した。

#### (2) 地域活動に関する情報収集及び発信事業

##### ア 広報誌の作成

<サポートオフィス通信概要>

発行回数：10回発行（7号～16号）

体裁：A4、4ページ

発行部数：各1,500部

配布箇所：各号約250カ所へ配布

発行時期の主力事業について特集を組み、サポートオフィスの事業の周知と成果報告ならびにNPO／市民活動団体が活動を進めるうえでヒントとなる情報を提供することを目的として発行した。

<各号内容>

発行号	主な掲載内容
7号	「まちだづくりカレッジ」の魅力
8号	オンラインで“つながる・広がる”活動の輪
9号	「まちカフェ！」新たな挑戦
10号	〈みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田〉発足
11号	〈みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田〉クラウドファンディング 実施状況のご報告
12号	〈みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田〉助成審査実施中
13号	町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」開催まであと1ヶ月！
14号	第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」10days、終了！
15号	第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」 実施報告
16号	「まちだづくりカレッジ」実施報告、次年度講座告知

イ ホームページの運営及び SNS 等を活用した情報発信

ホームページ：

イベント等告知記事16記事、活動レポート59記事、お知らせ26記事

SNS：Facebook 中心に1日1回程度更新。

Facebook フォロー1,182件（前年度比 124件増）

Twitter フォロー638件（前年度比 153件増）

Instagram フォロー525件（前年度比 263件増）

メルマガ：サポートオフィス通信発行、講座案内等を中心に発行、年10回発行

- ・4月の緊急事態宣言の発令を受け、スタッフブログや新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民活動団体への影響調査アンケートの報告、NPO市民活動団体向け助成金情報などホームページを通じた情報発信に力を入れた。

### (3) 地域活動を行う組織に対する基盤強化事業

#### ア 講座の実施

目標 1 2 回開催 →実績 2 4 回開催

(「まちだづくりカレッジ」5回×2期、Zoom・Facebook 講座3回、動画講座1回、チラシ講座1回、助成金講座1回、ファシリテーション講座4回、コロナ禍での団体の悩み共有1回、地域の課題を知る講座「まちだづくりサロン」2回、チャリティセミナー1回)

- ・4月の緊急事態宣言の発令を受けオンライン講座を導入したところ、子育て中の方など外出がしにくい層から「参加しやすくなった」との声が多くあった。
- ・2021年度も引き続きオンラインを積極的に取り入れつつ、新型コロナウイルスの感染状況を見据えながら対面とオンラインをあわせた「ハイブリッド」開催も検討していく。
- ・団体の事業計画をつくる伴走型連続講座「まちだづくりカレッジ」は、各回の中に団体へのオンラインと対面の個別面談(1~2回)を実施し、事業計画策定と団体内の関係構築に強くコミットしたことで、参加者満足度の高い講座となった。
- ・市民の地域課題への関心を高めることを目的に「まちだづくりサロン」ならびにチャリティセミナー「町田のリアルから未来を描く」をオンラインにて実施。各イベントに市民団体、研究者、行政職員などの多くのセクターから登壇してもらい多様な視点から課題を掘り下げた。

## イ 町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」事務局業務

### (ア) 会議開催

準備会 1 回、実行委員会 6 回、開会式 1 回、打ち上げ会 1 回（全てオンライン実施）

### (イ) 情報発信

ホームページ：イベント情報、実行委員会開催レポート掲載。

S N S：Facebook フォロー 1 4 3 件、Twitter フォロー 8 2 件

メルマガ：実行委員会等開催案内、報告等の内容を中心に発行、年 2 6 号発行

### (ウ) 開催実績

1 0 日間のオンラインならびに市内各地の会場での分散開催による「まちカフェ！」  
1 0 days として開催。

日時：2 0 2 0 年 1 2 月 4 日（金）～1 3 日（日）

会場：オンライン・市内各地の会場

主催：町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」実行委員会

テーマ：今こそ見せよう町田の底力～未来へつなぐ新たな挑戦～

#### <実行委員数>

参加団体 6 5 団体

事務局 2 団体（町田市市民部市民協働推進課、町田市地域活動サポートオフィス）

おうえん隊 3 名（内個人 2 名、団体参加者 1 名）・学生おうえん隊 8 名

#### <来場者数>

2, 0 0 2 名

・「まちカフェ！」1 0 days 期間中実施イベント参加者 7 3 8 名

・市役所みんなの広場「まちカフェ！」の森見学者 1, 2 6 4 名

#### <イベント>

各団体主催イベント 3 2 件（オンラインイベント 1 2 件、リアルイベント 2 0 件）

スペシャルイベント「まちカフェ！の森」

活動紹介動画制作・発表 1 6 団体

<協力団体・個人>

- ・広告協賛 6 団体
- ・場所提供 2 団体
- ・ボランティア 33 名（実行委員以外のボランティア）

<媒体制作>

- ・チラシ 19,000 部発行（市内自治会、保育園幼稚園等に配布）
- ・冊子『「まちカフェ！」協働ガイドブック』 A4 36 ページ、1,000 部発行

(4) 地域活動に関する調査研究事業

ア 市内で活動する団体に対する調査

市内活動団体ヒアリング 目標 10 団体→実績 10 団体

- ・「まちカフェ！」参加団体 10 団体に対してオンラインヒアリングを実施。
- ・「まちカフェ！」を通じた成果と成果創出のポイントを整理し報告書としてまとめた。オンライン活用のポイントなども明らかとなったので、今後「サポートオフィス通信」等で発信していく。

イ 市外中間支援組織へのヒアリング

(ア) 内容

市外中間支援組織ヒアリング 目標 4 団体→実績 4 団体

ヒアリング先	方法	ヒアリング内容
府中市民活動センタープラッツ	訪問	・ホームページにおける団体情報発信プラットフォームの運営について ・コロナ下での市民協働まつり開催方法について
ひょうごコミュニティ財団	オンライン	・公益法人化に伴う運営のメリットデメリットについて ・コミュニティ財団運営について

まつど NPO 協議会	オンライン	・協働事業「まつどでつながるプロジェクト」（子育て支援、子ども支援団体の協働事業）における中間支援組織の役割について。
NPO法人アカツキ他	オンライン	・NPOの組織開発、業務改善のための新たな評価手法開発について。

(5) 資金調達支援事業

ア 団体の資金調達支援 目標 2 団体以上→実績 1 4 団体

- ・助成金応募支援 2 団体（うち助成金獲得 1 団体 2 事業）
- ・クラウドファンディングによる支援先 1 2 事業

<クラウドファンディング実施経過>

2020年7月22日	社会福祉法人町田市社会福祉協議会及び一般財団法人町田市地域活動サポートオフィスによる「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田」実行委員会の設立
2020年8月3日～ 9月16日	クラウドファンディング実施 154 名から 1,130,000 円の支援 (FAAVO 町田への手数料を引いた 881,400 円を基金として活用)
2020年9月1日～ 10月2日	助成金申請受付 19 件 1,461,910 円の応募
2020年10月23日	審査委員会開催 12 件 881,400 円の助成を決定
2020年11月12日	助成金振込み
2020年事業開始～ 2021年3月31日	助成事業実施及び実施報告書提出
2021年4月24日	活動報告会実施

<審査委員会の委員構成>

委員長： 樋口明彦氏（法政大学社会学部教授）

委員： 井上宮子氏（玉川学園地区社会福祉協議会会長）

大貫一夫（業務執行理事）

鈴木 悟氏（町田商工会議所事務局長）【佐藤 正志専務理事の代理】

町野眞里子氏（町田市民生委員児童委員協議会会長）

#### 4 具体的な支援と成果の例

##### 連続講座「まちだづくりカレッジ」

全4回の講座と成果報告会の連続講座を2期開催。受講者へのフォローとして講座と講座の間に1, 2回の面接（対面／オンライン）、メール等での質問・相談を受けつけ、事業計画策定までを支援。特に団体内部での対話による理念共有の支援を重視した。講座終了後、事業実施段階においても個別支援を継続。

##### ① 事業計画策定団体

<第1期> へりぼーと、町田市ユニカール協会、町田×はたらくを考える会

<第2期> ぼくはぼく、コレクティブハウジング社、らぶふぁみ事務局

##### ② 参加団体によるコラボイベント実施支援（企画への助言、当日進行）

「with / after コロナ 2020年代の「まちだ」的 子育て&暮らし方」

##### 第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」参加団体支援

##### ① オンラインツール活用支援

Zoom、Facebook、動画作成など参加団体のオンラインツール活用支援を実施。講座とその後の複数回にわたる個別フォローを実施した。

事後アンケート「まちカフェ！事前・事後のオンラインツール活用」では、すべての項目で【よく活用している】が10ポイント以上増加した。

##### ② その他スキルアップ支援

オンラインツール以外にチラシ制作等個別のサポートを行った。実施報告アンケートでは、参加団体の56%が「団体に活気が増えた」と回答。

##### ③ 協働事業立ち上げ支援

「まちカフェ！」参加団体から提案された協働事業「まちだ子どもアクション」の立ち上げを同プロジェクトの事務局として支援。

##### ④ 学生おうえん隊の立ち上げ

学生が「まちカフェ！」参加団体の活動をサポートする学生おうえん隊という仕組みを立ち上げ、8名の学生が3団体で活動をした。学生、団体双方から高い評価を得た。



## 個別支援具体事例

### ① NPO 法人ゆどうふ 【助成事業の成果創出】

- ・ 2019年度助成金獲得支援を行い、2020年度4月より事業を実施。
- ・ ひきこもり等の若者が地域の課題を有償で担う「わらしべワーク実行委員会」（助成金事業）に参画し、事業運営を支援。
- ・ 毎月の定例会に参加、報告会／研修等のオンライン開催・企画・進行。
- ・ 成果報告書（冊子）編集協力。

### ② ブラインド IT サポートまちだ 【助成金獲得】

- ・ 団体の活動内容に合致した助成プログラムを選択して提案。
- ・ 申請書執筆への助言、推薦コメント執筆。

### ③ 昭和薬科大学 【オンラインイベント開催】

- ・ オンライン企画開催支援（登壇者選定、企画、当日進行、広報）
- ・ オンライン「赤ちゃん親子がやってきた授業」 登壇者5組、受講学生数250名
- ・ オンライン「お薬カフェ」開催支援 登壇者3名、参加者12名

### ④ 町田市立第五小学校 PTA 【オンラインイベント開催】

- ・ オンライン先進 PTA 講演会の開催支援。

### ⑤ じゃお多摩・田園／探求フリースクールマチラボ 【広報媒体制作】

- ・ プレスリリース等広報媒体作成支援

### ⑥ 8050多職種情報交換会（高齢者支援センター他） 【立ち上げ】

- ・ 8050に関する職種を超えた情報交換会の立ち上げ、開催（企画、進行）

以上